

IOWebDOC

IOCELA 簡易マニュアル

<< 目次 >>

1	はじめに.....	4
1.1	帳票化の目的	4
1.2	作成手順	4
1.3	サンプルデータ	5
1.4	サンプル帳票(在庫管理表)	6
2	帳票の構造	9
2.1	ブロックについて.....	9
3	帳票作成.....	10
3.1	新規作成	10
3.2	レイアウト作成前の準備.....	11
3.2.1	用紙設定	11
3.2.2	フォント設定	11
3.2.3	外枠罫線設定	12
3.2.4	プレビュー[1]	13
3.3	設定.....	14
3.3.1	データ形式設定	14
3.3.2	自動項目設定	16
3.3.3	計算式設定.....	17
3.4	ブロック設定	18
3.4.1	項目の説明	19
3.4.2	メニュー項目の説明	20
3.4.3	ヘッダー部.....	21
3.4.3.1	項目の変更方法.....	21
3.4.3.2	項目の新規作成方法	23
3.4.3.3	ブロックの新規作成方法	28
3.4.3.4	項目の新規作成.....	30
3.4.4	見出し部	32
3.4.4.1	項目の設定	32
3.4.5	データ部	37
3.4.5.1	項目の設定	37
3.4.6	テール部.....	42
3.4.6.1	ブロックの削除の方法	42
3.4.7	フッター部	43
3.4.7.1	項目の設定	43
3.4.8	プレビュー[2]	46
3.4.8.1	テストデータで出力.....	46
3.4.8.2	実際のデータで出力	48
3.5	計算式設定	51
3.5.1	作成の手順.....	51
3.5.1	計算式の作成	51
3.5.2	見出し部の追加作成	52
3.5.3	データ部の追加作成	54
3.5.4	プレビュー[3]	56

3.6	小計・合計や改頁の設定	58
3.6.1	作成手順	58
3.6.2	ブレイク設定	58
3.6.2.1	作成するブレイク内容	58
3.6.2.2	設定方法	59
3.6.3	演算設定	63
3.6.3.1	作成する演算内容	63
3.6.3.2	設定方法	63
3.6.4	定義の表示設定	66
3.6.4.1	設定方法	66
3.6.5	プレビュー〔4〕	69
4	IOCELAの挙動制御	72

1 はじめに

IOCELAは、CSV等のデータの項目数が不定のデータから、表形式帳票を作成するためのツールです。
本マニュアルでは【サンプル帳票(在庫管理表)】を例に、作成の手順をご説明します。

1.1 帳票化の目的

- 表題を“在庫管理表”とし、帳票作成日付とページ数を毎頁付加する。
- 「種別」ごとに「入庫数量」「出庫数量」の小計、「充填率」の平均を出力して、改頁を行う。
- 「品名」ごとに「入庫数量」「出庫数量」の計、「充填率」の平均の出力を行う。
- 「品名」が同じ場合は「品名」「種別」「単価」「基準数量」を省略する。
- 最終頁に「入庫数量」「出庫数量」「充填率」の合計の出力を行う。

1.2 作成手順

以下の手順を追って各定義ファイルをご説明します。

1.新規作成

- ブロック(ヘッダ、見出し、テール、フッタ)を作成

2.レイアウト作成前準備

- 用紙設定
- フォント設定
- 外枠罫線設定

3.設定

- データ形式設定
- 自動項目設定
- 計算式設定 (西暦を平成に変換)

4.ブロック設定

- ヘッダー部
- 見出し部
- データ部
- テール部
- フッター部

5. 計算式設定 (在庫数と充填率)

6.小計・合計や改頁の設定

- ブレーク設定
- 演算設定
- 定義の表示設定

1.3 サンプルデータ

サンプルデータは、下記のものを使用します。

データの形式は、最終行レコードを例に説明します。

データの区切り文字は「;」です。

1カラム目(左側)から順に、

① 種別;②品名;③月;④単価;⑤基準数量;⑥繰越数量;⑦入庫数量;⑧在庫数量
としています。

```
1;鉛筆;1;100;500;300;400;300
1;鉛筆;2;100;500;400;200;250
1;鉛筆;3;100;500;350;300;300
1;消しゴム(キャラクターイラスト入り);1;100;200;50;300;250
1;消しゴム(キャラクターイラスト入り);2;100;200;100;200;150
1;消しゴム(キャラクターイラスト入り);3;100;200;150;100;50
1;ボールペン(黒);1;120;200;100;200;50
1;ボールペン(黒);2;120;200;250;50;150
1;ボールペン(黒);3;120;200;150;200;100
1;ボールペン(赤);1;120;200;100;200;150
1;ボールペン(赤);2;120;200;150;100;150
1;ボールペン(赤);3;120;200;100;200;50
1;蛍光ペン(黄);1;100;150;90;100;40
1;蛍光ペン(黄);2;100;150;150;50;100
1;蛍光ペン(黄);3;100;150;100;150;75
1;蛍光ペン(青);1;100;100;100;100;40
1;蛍光ペン(青);2;100;100;160;50;100
1;蛍光ペン(青);3;100;100;110;40;75
2;FD;1;350;40;10;40;5
2;FD;2;350;40;45;10;15
2;FD;3;350;40;40;10;5
2;FAX用紙;1;500;5;10;0;1
2;FAX用紙;2;500;5;9;0;2
↑   ↑   ↑   ↑   ↑   ↑   ↑
①   ②   ③   ④   ⑤   ⑥   ⑦   ⑧
```

1.4 サンプル帳票(在庫管理表)

サンプル帳票は、サンプルデータを元に自動項目、ブレイク、演算、計算式などの要素からなっております。

【在庫管理表・1P】

在庫管理表									
平成 20年 04月 24日									
種別	品名	月	単価	標準数量	繰越数量	入庫数量	在庫数量	出庫数量	充填率
1	鉛筆	1	100	500	300	400	400	400	80.00
		2			300	300	350	350	70.00
		3			400	250	300	300	70.00
計						300	400	400	72.22
						400	400	400	
1	消しゴム (キャラクター ターイラスト入り)	1	100	200	50	300	100	50	50.00
		2			100	200	150	150	75.00
		3			150	100	200	100	100.00
計						600	450	450	75.00
						450	450	450	
1	ボールペン (黒)	1	120	200	100	200	250	250	125.00
		2			50	50	150	150	75.00
		3			250	150	200	200	125.00
計						500	450	450	100.22
						450	450	450	
1	ボールペン (赤)	1	120	200	100	200	150	150	75.00
		2			150	100	100	100	50.00
		3			150	200	250	250	125.00
計						500	450	450	89.99
						450	450	450	
1	蛍光ペン (黄)	1	100	150	90	100	150	150	100.00
		2			40	50	100	100	66.67
		3			150	150	175	175	116.67
計						300	400	400	114.44
						400	400	400	

- 赤枠はヘッダー部です。
- 緑枠は見出し部です。
- 青枠はデータ部です。(【サンプルデータ】がこの部分になります。)
- 水色枠はデータ部から計算式で算出した数値です。
“計”、“小計”、“合計”は、演算やブレイクを設定して出力をします。(「3.6.2 ブレイク設定」をご参照ください。)
- 黄枠はフッター部です。

【在庫管理表・P.3】

C:\temp\iod28.tmp - iodview

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H) 終了(O)

在庫管理表 平成 20 年 04 月 24 日

種別	品名	月	単価	基準数量	繰越数量	入庫数量	在庫数量	充填率
2	F D	1	350	40	10	40	45	112.50
						5		
						10	40	100.00
						15		
3					40	45	112.50	
					10			
					5			
計					24	25	102.92	
F A × 用紙	1	500	5	10	0	9	180.00	
					1			
					9	7	140.00	
2					0			
					2			
計					9	7	160.00	
小計					60	28	123.00	
合計					3,000	2,408	99.71	

P. 3

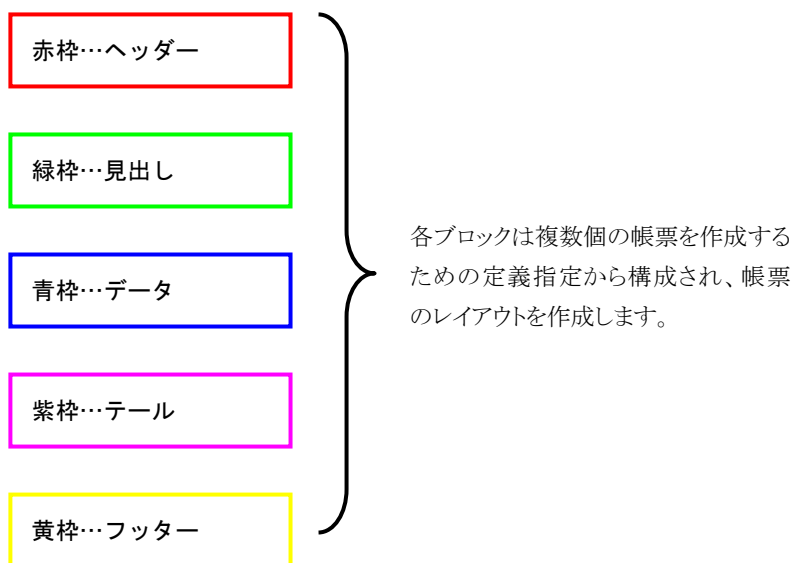
a4(595x842)縦 3/3Page 100%

2 帳票の構造

まず、作成を始める前にブロックについてご説明します。

2.1 ブロックについて

色別にそれぞれがブロックです。



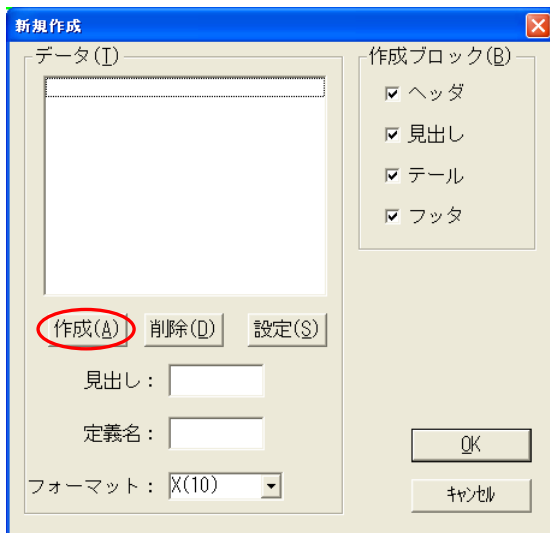
各ブロックの意味は以下の様になっています。

- ヘッダー部 : 帳票のタイトル、年月日、頁を設定
- 見出し部 : データ部の各項目の説明を設定
- データ部 : データの表示フォーマット、小計や改頁などの制御情報を設定
- テール部 : 合計、平均などを各ページに設定(データ部と接続して表示する場合に使用)
- フッター部 : 合計、平均、脚注、タイトルなどを最終ページに設定
(データ部と切り離して表示する場合に使用)

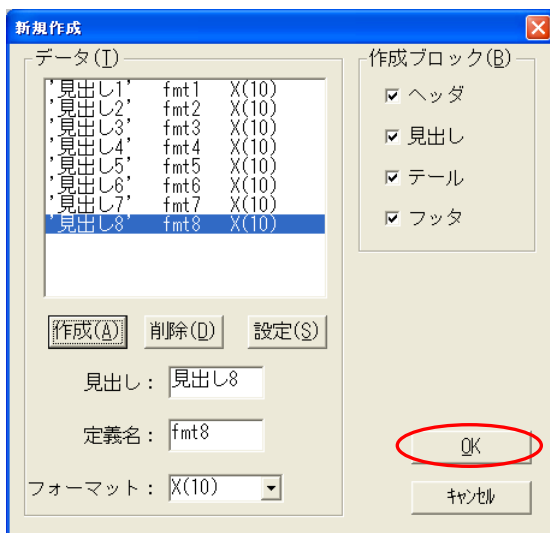
3 帳票作成

3.1 新規作成

- 1)メニューバーのファイル→新規作成を選択クリックしてください。
- 2)この画面が表示されます。「作成」ボタンを8回クリックしてください。



- 3)データリストに8つの項目が作成されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



3.2 レイアウト作成前の準備

これらの各設定を事前に行う事で、効率良い作業ができます。

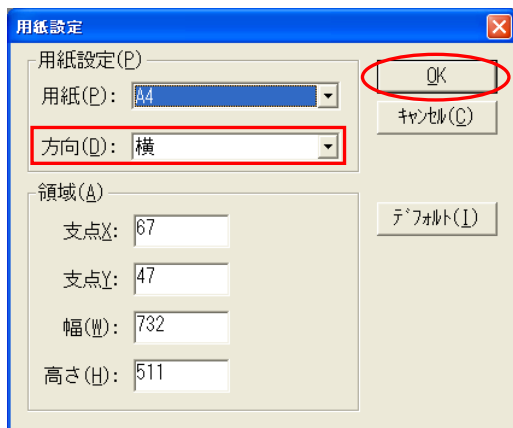
必ずしもすべての設定をする必要はありません。後から設定を変更する事もできます。

3.2.1 用紙設定

1)メニューバーの基本設定→用紙設定を選択してください。

2)この画面が表示されます。

方向のリストとボックスから「縦」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。

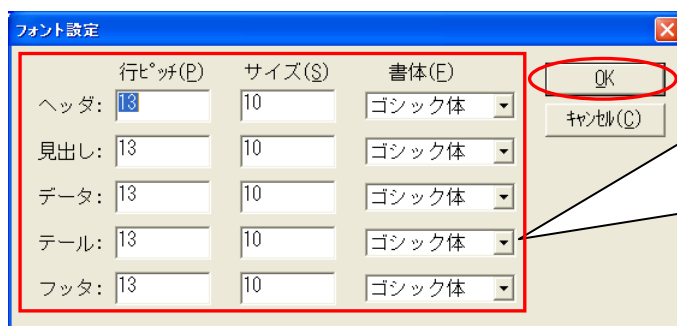


※縦を選択すると領域の「支点 X」、「支点 Y」、「幅」、「高さ」は自動的に入力されます。

3.2.2 フォント設定

1)メニューバーの基本設定→フォント/行ピッチを選択してください。

この画面が表示されます。



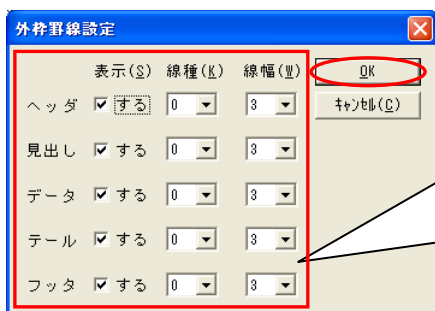
【変更内容】

	行ピッチ	サイズ	書体
ヘッダー	18	14	ゴシック体
見出し	15	11	ゴシック体
データ	15	11	ゴシック体
テール	13	11	ゴシック体
フッター	13	11	ゴシック体

ヘッダー、見出し、データ、テール、フッターそれぞれの行ピッチ、サイズ、書体に変更内容を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

3.2.3 外枠罫線設定

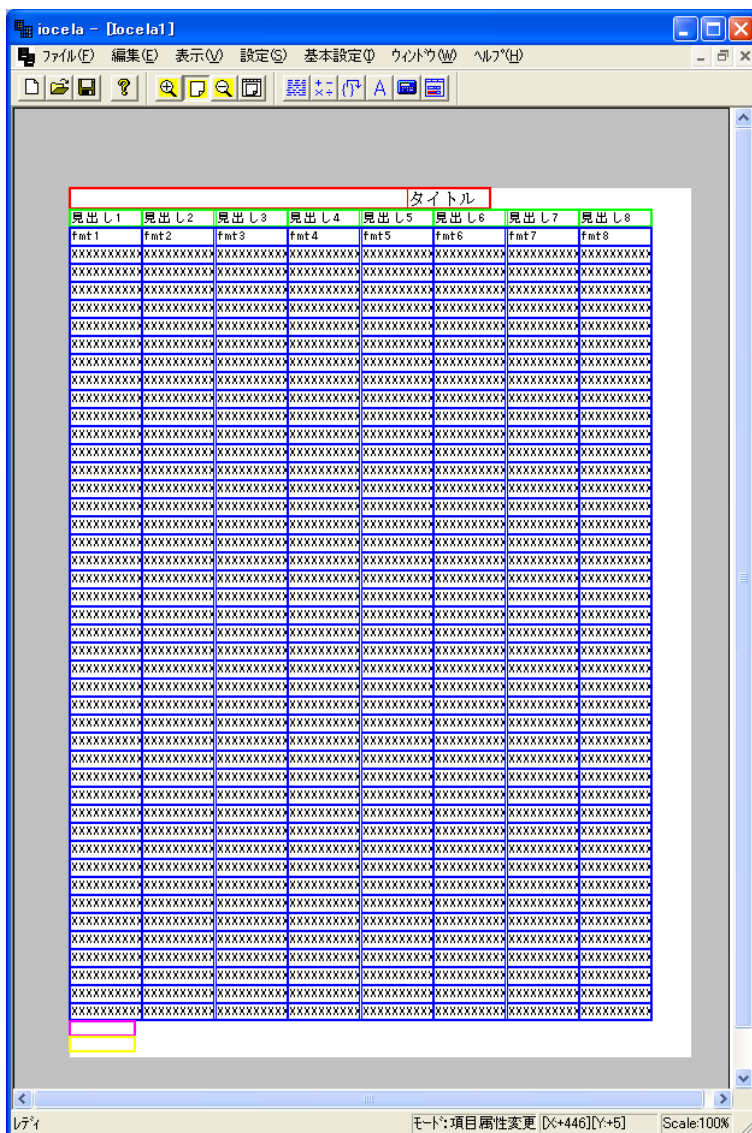
- 1)メニューバーの基本設定→外枠罫線設定を選択してください。
- 2)この画面が表示されます。



【変更内容】

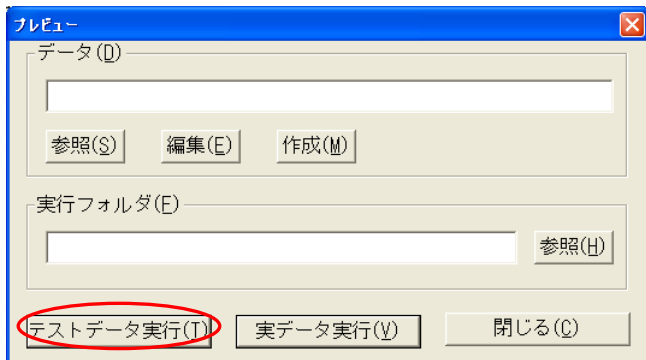
	表示	線種	線幅
ヘッダー	チェックなし	-	-
見出し	チェックあり	1	3
データ	チェックあり	1	3
テール	チェックあり	1	3
フッター	チェックなし	-	-

- 3)ヘッダー、見出し、データ、テール、フッターそれぞれの項目に変更内容を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 4)この画面が表示されます。

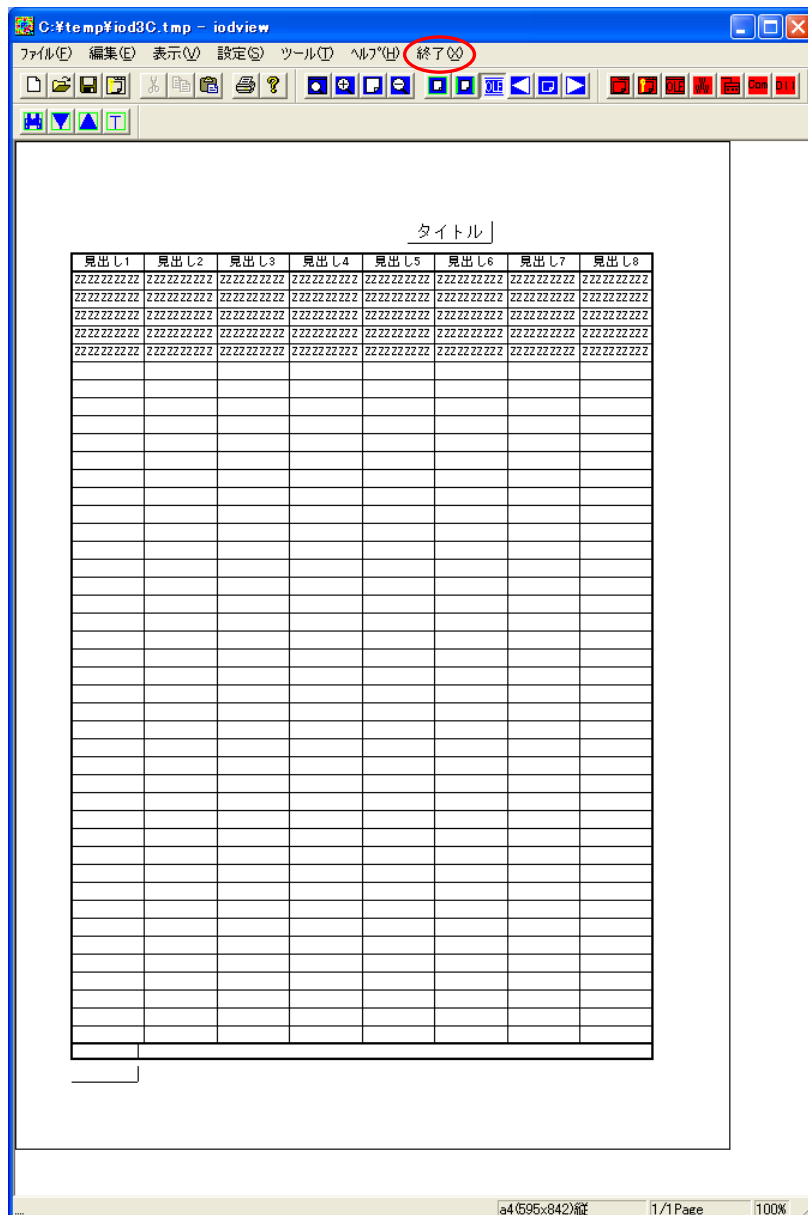


3.2.4 プレビュー[1]

- 1)メニューバーのファイル→プレビューを選択クリックしてください。
- 2)この画面が表示されます。「テストデータ実行」ボタンをクリックしてください。



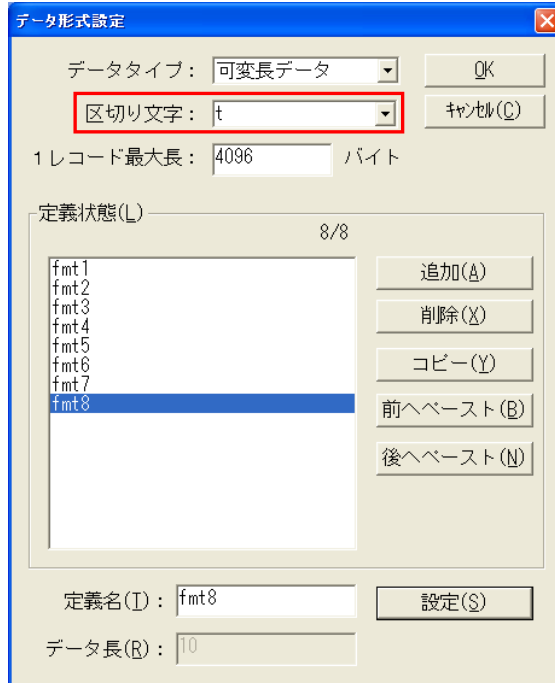
- 3)この画面が表示されます。
画面を閉じるにはメニューバーの終了をクリックしてください。



3.3 設定

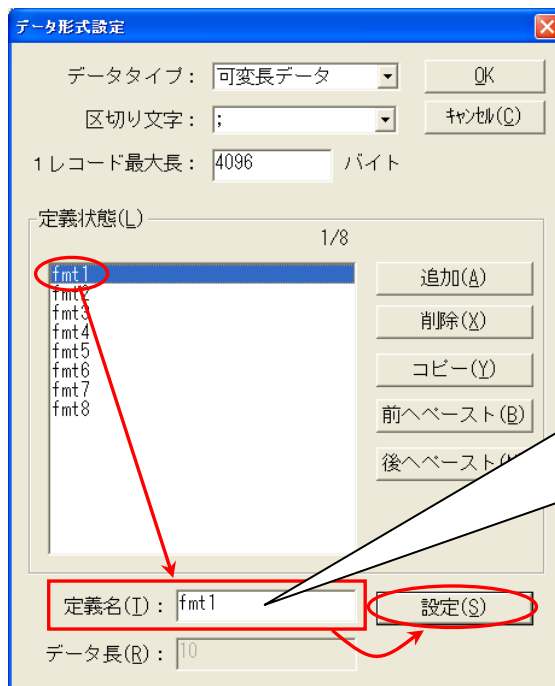
3.3.1 データ形式設定

- 1)メニューバーの設定→データ形式を選択してください。
- 2)この画面が表示されます。区切り文字:に「;」と入力してください。



※「区切り文字」とはデータの区切り文字の事です。(「1.3 サンプルデータ」をご参照ください。)

- 3)定義状態のリストから変更したい項目をクリックすると、定義名欄にその項目の状態が表示されます。定義名欄に変更内容を入力し、「設定」ボタンをクリックしてください。



【変更内容】

fmt1	→	grop
fmt2	→	name
fmt3	→	tuki
fmt4	→	tanka
fmt5	→	kijun
fmt6	→	kurikosi
fmt7	→	nyuuko
fmt8	→	syukko

4) 定義状態のリストの表示は以下の様に変更されます。

データ形式設定

データタイプ: 可変長データ OK

区切り文字: ; キャンセル(C)

1レコード最大長: 4096 バイト

定義状態(L) 8

- grop
- name
- tuki
- tanka
- kijun
- kurikosi
- nyuuko
- syukko

追加(A)

削除(X)

コピー(Y)

前へペースト(B)

後へペースト(N)

定義名(I): 設定(S)

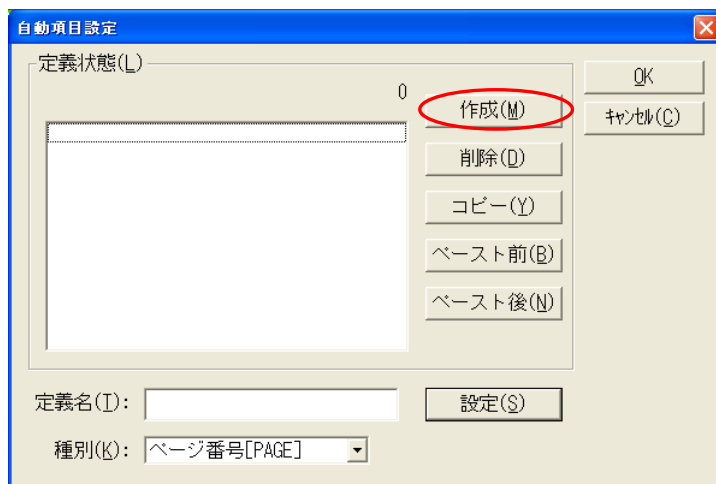
データ長(B):

5) 変更が終了したら、「OK」ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

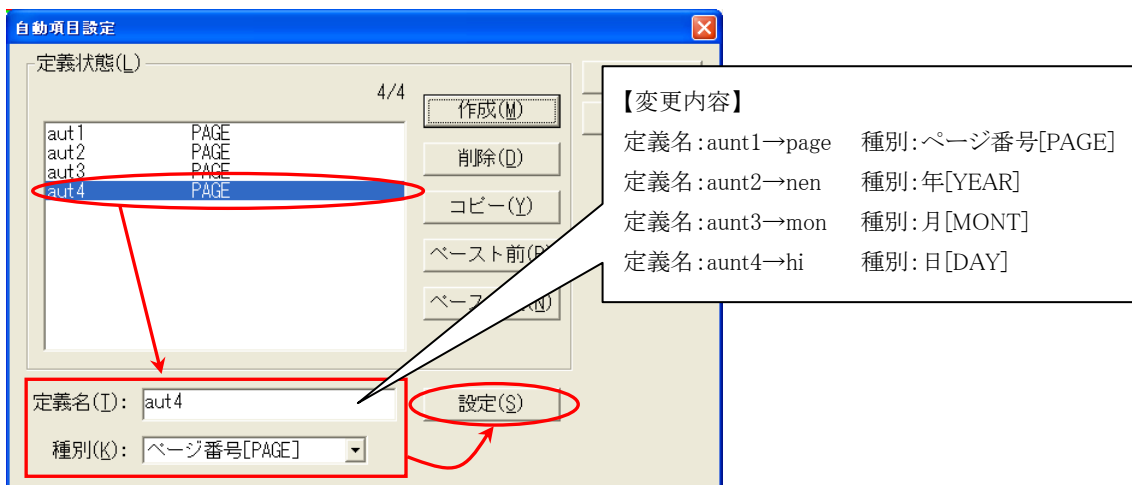
3.3.2 自動項目設定

ページ番号、年、月、日を自動的に表示させる設定を行います。

- 1)メニューバーの設定→自動項目を選択してください。
- 2)この画面が表示されます。「作成」ボタンを4回クリックしてください。



- 3)自動項目が4つ作成されますので、それぞれに以下の設定をしてください。



定義状態のリストから変更したい項目をクリックすると、定義名欄にその項目の状態が表示されます。
定義名に変更内容を入力し、「設定」ボタンをクリックしてください。

- 4)変更が終了したら、「OK」ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

参考

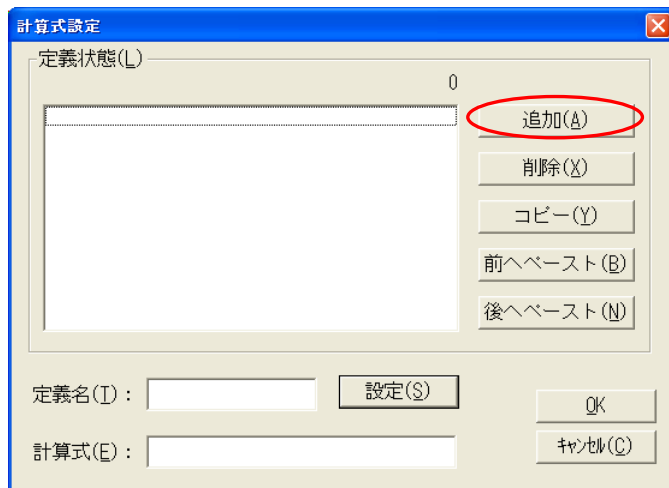
ここで設定した種別のそれぞれの内容は以下のようになっています。

- ページ番号 [PAGE] : 連番でページ付けがされます。
- 年 [YEAR] : 西暦で表示されます。
- 月 [MONT] : 月が表示されます。
- 日 [DAY] : 日が表示されます。

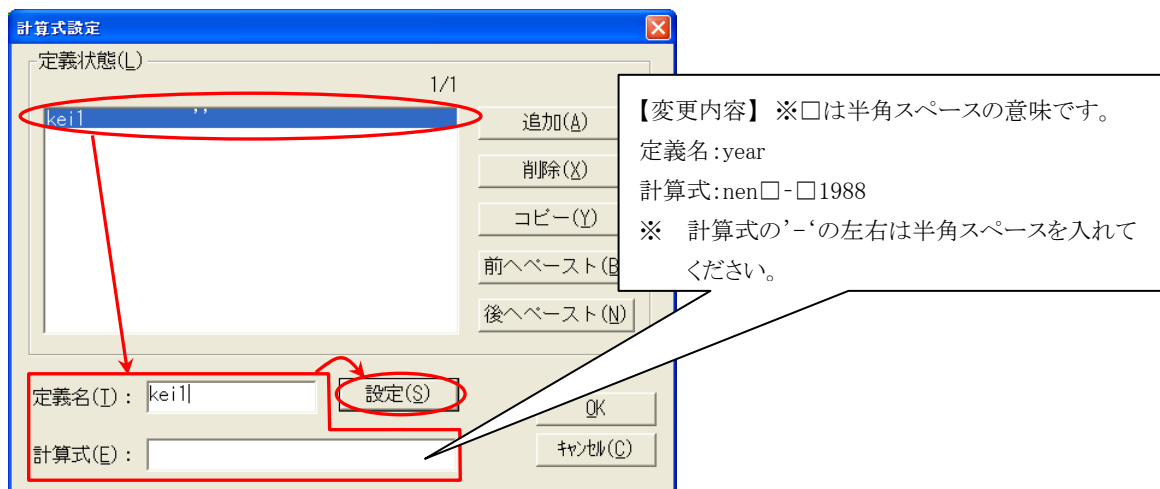
3.3.3 計算式設定

西暦で表示される自動項目の[YEAR]を平成の年度に表示させる計算式を設定します。

- 1)メニューバーの設定→計算式を選択してください。
- 2)この計算式設定画面が表示されます。「追加」ボタンを1回クリックしてください。



- 3)計算式の定義が1つ作成されますので、以下の設定をしてください。



定義状態のリストから変更したい項目をクリックすると、定義名、計算式欄にその項目の状態が表示されます。
(定義名には「kei1」、計算式欄は空欄になっています。)

定義名、計算式欄に変更内容を入力し、「設定」ボタンをクリックしてください。

- 4)変更が終了したら、「OK」ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

3.4 ブロック設定

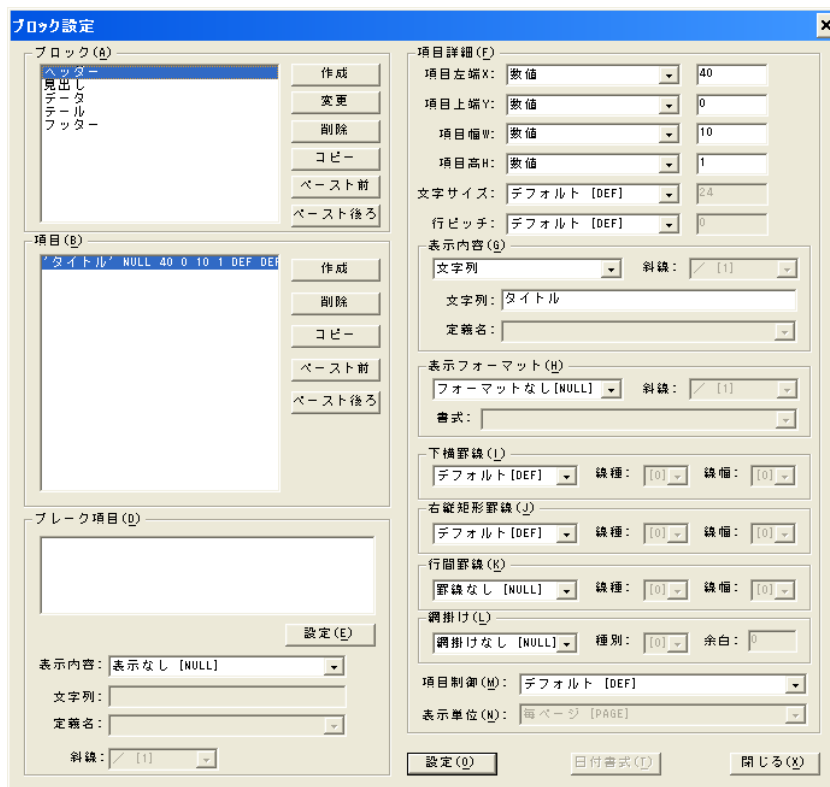
ブロックごとに定義指定を行い、帳票のレイアウトを作成します。

1)レイアウトのタイトルをクリックしてください。



2)この画面が表示されます。

画面の右側の項目詳細の設定を変更します。



3.4.1 項目の説明

ブロックを構成している定義です。

項目の位置、他の項目との相対位置、幅、高さを設定する事により、レイアウトを作成します。

項目名	説明
① 項目左端 X	X座標値の設定
② 項目上端 Y	Y座標値の設定
③ 項目幅 WW	幅の設定
④ 項目高 H	高さの設定
⑤ 文字サイズ	文字のサイズの設定
⑥ 行ピッチ	行ピッチの設定
⑦ 表示内容	表示する内容の設定
⑧ 表示フォーマット	表示フォーマットの設定
⑨ 下横罫線	下側の罫線の設定
⑩ 右縦・矩形罫線	右側の罫線の設定
⑪ 行間罫線	行間の罫線設定
⑫ 網掛け	網掛け設定
⑬ 項目制御	領域を越えている場合などの設定
⑭ 表示単位	テール部、フッター部のみの表示設定

3.4.2 メニュー項目の説明

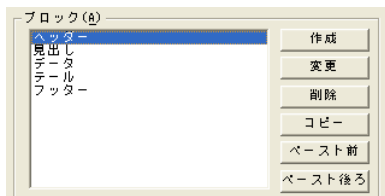
メニュー項目	説明
数値	任意の数値の入力
直前データに接続[+]	直前データとの相対位置
直前データと同じ[=]	直前データと同じ位置
領域左端[FIT]	ページ単位の左端に合わせる指定 (始点Xのみ)
領域余白[FIT]	領域ごとに残りのXサイズに合わせる指定
デフォルト[DEF]	設定メニューで設定したものが反映
表示なし[NULL]	表示しない設定
文字列	文字列の設定
定義名	定義名の設定
斜線[SLN]	斜線種を選択設定
フォーマットなし[NULL]	フォーマットのない設定(中央寄せとなります)
フォーマット文字列[SET]	フォーマットの設定
データ空時斜線[SLN]	データが空の場合斜線を引く設定
特定罫線[TOK]	設定メニューで設定したものが反映
線種・線幅[SET]	設定メニューで設定したものが反映
罫線なし[NULL]	罫線を表示しない設定
矩形罫線[RCT]	設定メニューで設定したものが反映
網掛けなし[NULL]	網掛け表示をしない設定
種別・間隔[TOK]	設定メニューで設定したものが反映
制御なし[NULL]	項目内容がセンタリングして表示
種別・間隔[SET]	設定メニューで設定したものが反映
可変行分割[DIV]	可変行を分割する設定
文字サイズ自動縮小[SIZ]	項目に合わせて文字を自動縮小
データカット[CUT]	項目内容をセンタリングしない表示
固定行分割[FIX]	固定行を分割する設定
毎ページ[PAGE]	毎ページに表示する設定
最終ページのみ[END]	最終ページのみ表示する設定

3.4.3 ヘッダー部

3.4.3.1 項目の変更方法

文字列“平成”の項目を設定します。

1)ブロックの中のヘッダーを選択してください。



2)項目左端 X を設定します。“54”と入力してください。

元の位置より左側に設定したいので、元の数値“40”より大きい数値を入力します。設定したらレイアウトで位置の確認をしてください。



3)項目幅 W を設定します。“4”と入力してください。

“平成”の文字が入るくらいの幅にします。

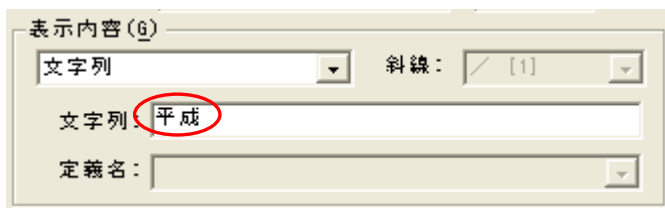


4)文字サイズを設定します。プルダウンメニューから“数値”を選択して“10”と入力してください。

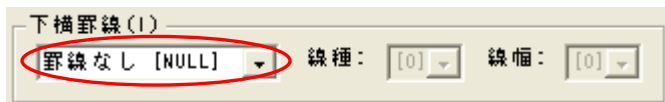
デフォルトで設定してあるサイズ“14”より小さくしたいので、小さい数値を入力します。



5)文字列を設定します。“平成”と入力してください。



6)下横罫線を設定します。リストボックスから「罫線なし[NULL]」を選択してください。



7)右縦・矩形罫線を設定します。リストボックスから「罫線なし[NULL]」を選択してください。

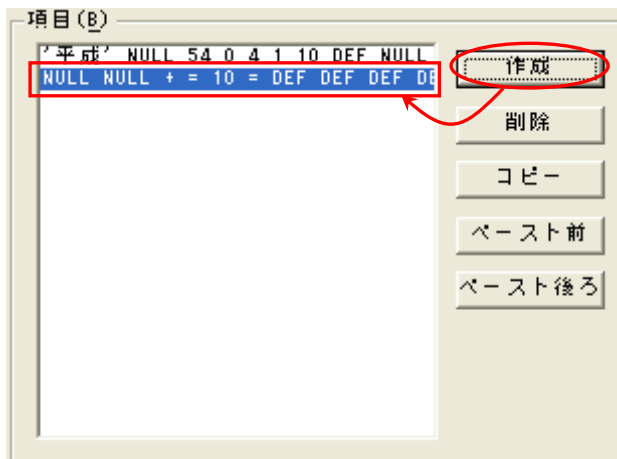


3.4.3.2 項目の新規作成方法

1)レイアウトの[平成]をクリックしてください。



2)項目欄の「作成」ボタンをクリックして、新規の項目を作成してください。



3)ブロック設定の画面の右側の「項目詳細」の設定を変更します。

ここからの設定は「3.4.3.1 項目の変更方法」からの手順と項目説明を参照し、それぞれに以下の設定を行ってください。

4)【定義名:YEAR】和暦の年(nen)の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択(前項目に連結)
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じY座標位置)
- 3) 項目幅W : 2を入力
- 4) 高さ : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じサイズ)
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じピッチ)
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “year”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[SET]を選択
- 10) 書式 : 99を入力。
(表示フォーマットを「フォーマット文字列[SET]」にした時だけ入力できます。)
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じ罫線)
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じ罫線)
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じ罫線。)
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じ網掛け)
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じ制御)

5)項目の欄で前の行を選択し、「コピー」ボタンをクリック後、「ペースト後ろ」をクリックしてください。

コピーした行と同じ内容の項目が作成されます。

作成された行を選択し、以下の設定を行ってください。

【文字列:年】文字列(年)の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅W : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じ幅)
- 4) 高さ : 直前データと同じ[=]を選択(前項目と同じ高さ)
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “年”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマットなし[NULL]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

6)行のコピーを行い、作成した行に以下の設定を行ってください。

【定義名: MONT】月(mon)の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅W : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 高さ : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “mon”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[SET]を選択
- 10) 書式 : 99を入力
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

7)行のコピーを行い、作成した行に以下の設定を行ってください。

【文字列: 月】文字列(月)の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択。
- 3) 項目幅W : 直前データと同じ[=]を選択。
- 4) 高さ : 直前データと同じ[=]を選択。
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “月”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマットなし[NULL]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

8)行のコピーを行い、作成した行に以下の設定を行ってください。

【定義名:DAY】日(hi)の項目

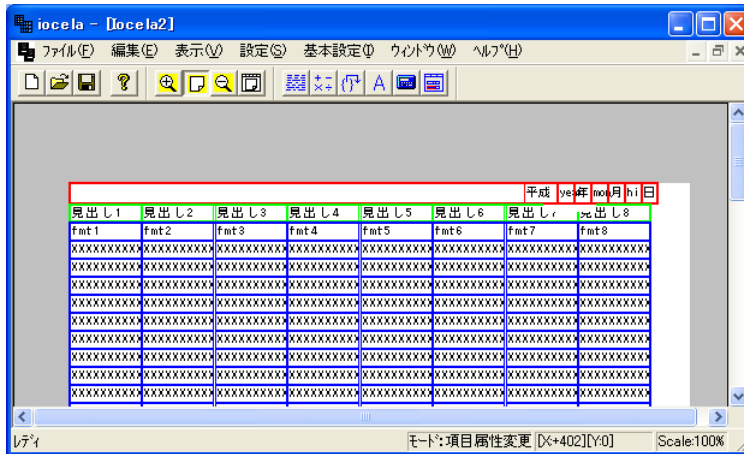
- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅W : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 高さ : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “hi”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[SET]を選択
- 10) 書式 : 99を入力
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

9)行のコピーを行い、作成した行に以下の設定を行ってください。

【文字列:日】文字列(日)の項目

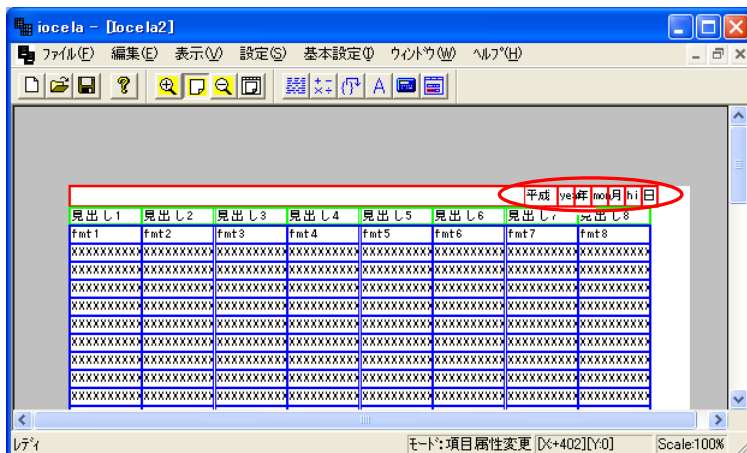
- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択。
- 3) 項目幅W : 直前データと同じ[=]を選択。
- 4) 高さ : 直前データと同じ[=]を選択。
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “日”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマットなし[NULL]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

10)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。



3.4.3.3 ブロックの新規作成方法

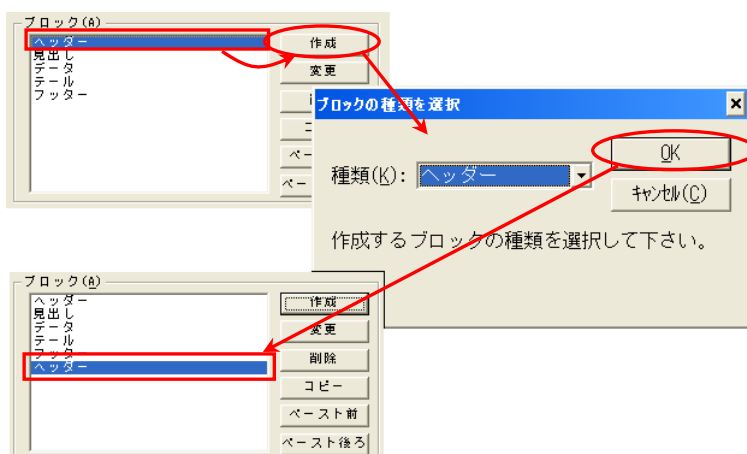
1)レイアウトのヘッダー部をクリックしてください。



2)ブロック設定画面が開きます。

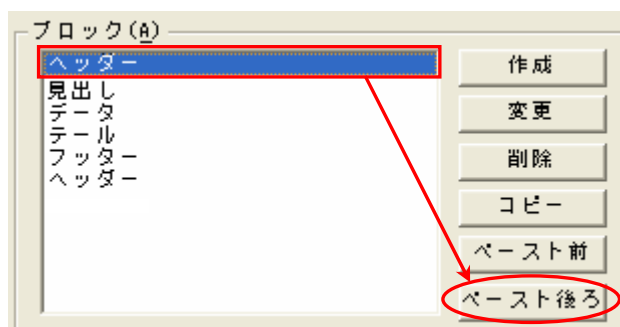
メニューがヘッダーになっている事を確認して、「作成」ボタンをクリックしてください。

ブロックの最後にヘッダーが追加されます。

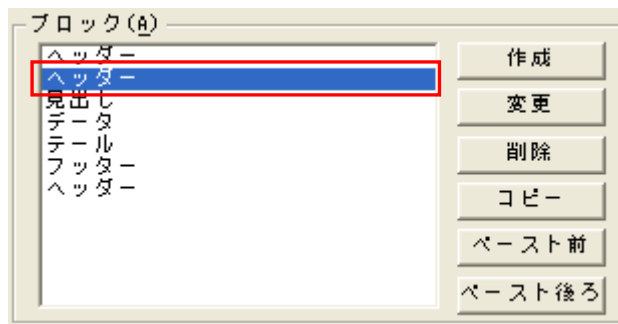


3)追加されたヘッダーをクリックし、「コピー」ボタンをクリックしてください。

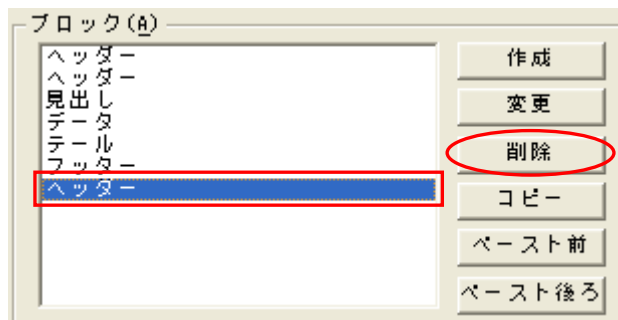
4)そのまま先頭のヘッダーをクリックして、「ペースト後ろ」ボタンをクリックしてください。



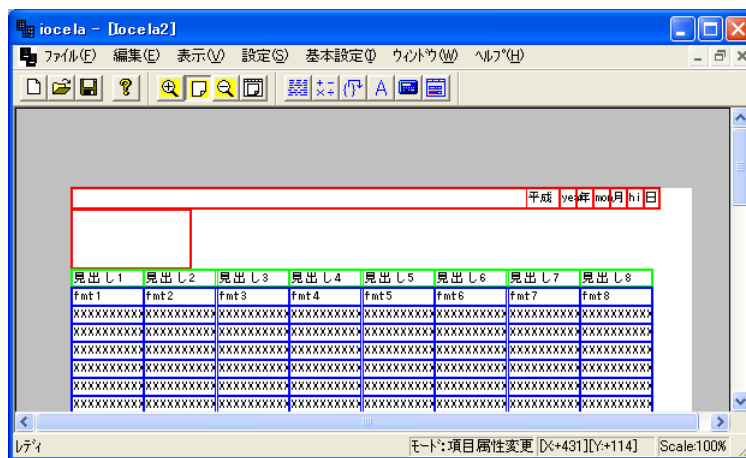
5)ヘッダーが追加されます。



6)最後のヘッダーが追加されたままなので、「削除」ボタンをクリックして削除します。



7)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。



3.4.3.4 項目の新規作成

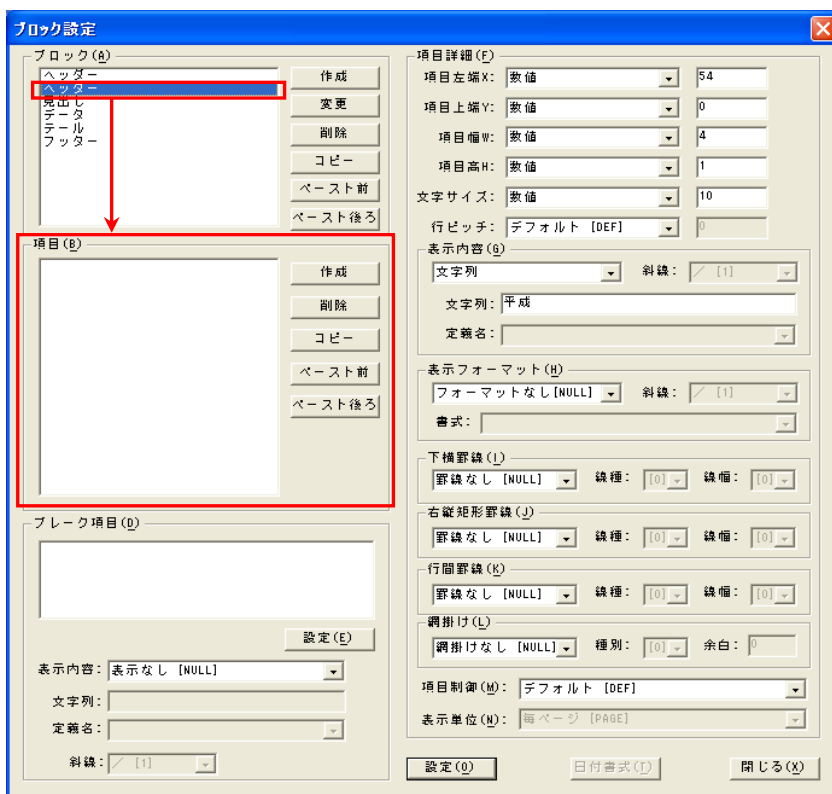
新規作成したヘッダー部の項目を作成し、項目詳細の設定をします。

(「3.4.3.2 項目の新規作成方法」をご参照ください。)

1)メニューバーの設定→ブロックを選択してください。

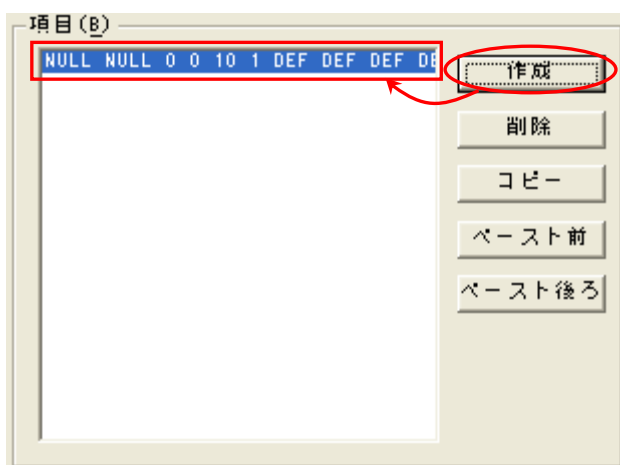
この画面が開きますので先ほど作成したブロックの二番目のヘッダーをクリックしてください。

項目には何も表示されていない状態になります。



2)項目の「作成」ボタンをクリックすると項目に新しく行が作成されます。

作成された行に以下の設定を行ってください。



3)【文字列:在庫管理表】文字列(在庫管理表)の項目

- 1) 項目左端X : 数値を選択して 26 を入力
- 2) 項目上端Y : 数値を選択して 0 を入力
- 3) 項目幅W : 数値を選択して 20 を入力
- 4) 高さ : 数値を選択して 2 を入力
- 5) 文字サイズ : 数値を選択して 25 を入力
- 6) 行ピッチ : デフォルト[DEF]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “在庫管理表”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマットなし[NULL]を選択
- 10) 下横罫線 : 罫線なし[NULL]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 罫線なし[NULL]を選択
- 12) 行間罫線 : 罫線なし[NULL]を選択
- 13) 網掛け : 網掛けなし[NULL]を選択
- 14) 項目制御 : 制御なし[NULL]を選択

2)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。



3.4.4 見出し部

3.4.4.1 項目の設定

1)レイアウトの[見出し1]をクリックしてください。



2)ブロック設定画面で項目の変更を行います。

見出し1～見出し8までの各項目にそれぞれ以下の設定を行ってください。

3)【見出し1→種別】文字列(見出し1)から種別に変更する項目

- 1) 項目左端X : 数値を選択して0を入力
- 2) 項目上端Y : 数値を選択して0を入力
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して5を入力
- 4) 項目高さ H : 数値を選択して2を入力
- 5) 文字サイズ : デフォルト[DEF]を選択
- 6) 行ピッチ : デフォルト[DEF]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “種別”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマットなし[NULL]を選択
- 10) 下横罫線 : デフォルト[DEF]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : デフォルト[DEF]を選択
- 12) 行間罫線 : 罫線なし[NULL]を選択
- 13) 網掛け : 網掛けなし[NULL]を選択
- 14) 項目制御 : 固定行分割[FIX]を選択

4)【見出し2→品名】文字列(見出し 2)から品名に変更する項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 20 を入力
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “品名”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

5)【見出し3→月】文字列(見出し 3)から月に変更する項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 3 を入力。
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “月”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

6)【見出し4→単価】文字列(見出し 4)から単価に変更する項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 13 を入力
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “単価”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : デフォルト[DEF]を選択

7)【見出し5→基準数量】文字列(見出し 5)から基準数量に変更する項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 11 を入力
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “基準数量”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

8)【見出し6→繰越数量】文字列(見出し 6)から繰越数量に変更する項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “繰越数量”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

9)【見出し7→入庫数量】文字列(見出し 7)から入庫数量に変更する項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 項目高さ H : 数値を選択して 1 を入力
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “入庫数量”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 固定行分割[FIX]を選択

10)【見出し8→出庫数量】文字列(見出し8)から出庫数量に変更する項目

- 1) 項目左端X : 直前データと同じ[=]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データに接続[+]を選択
- 3) 項目幅 W : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “出庫数量”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

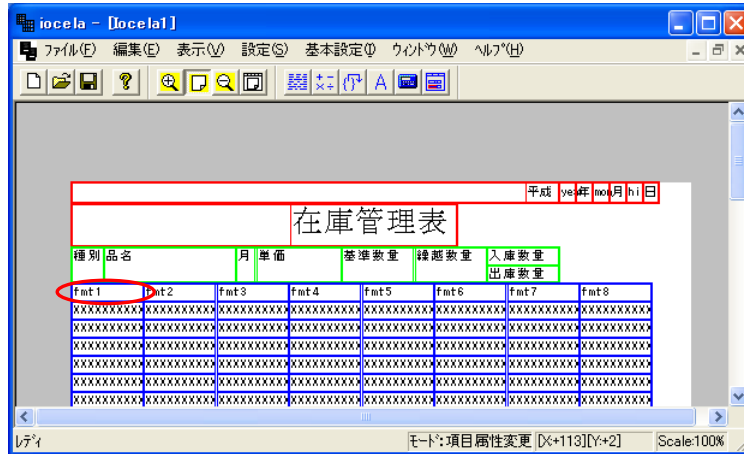
11)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。

在庫管理表							
種別	品名	月	準備	基準数量	繰越数量	在庫数量	出庫数量
fmt1	fmt2	fmt3	fmt4	fmt5	fmt6	fmt7	fmt8
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

3.4.5 データ部

3.4.5.1 項目の設定

1)レイアウトの[fmt1]をクリックしてください。



2)ブロック設定画面で項目の変更を行います。

fmt1～fmt8 までの各項目にそれぞれ以下の設定を行ってください。

3)【fmt1→grop】定義名 grop の項目

- 1) 項目左端X : 数値を選択して 0 を入力
- 2) 項目上端Y : 数値を選択して 0 を入力
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 5 を入力
- 4) 項目高さ H : 数値を選択して 2 を入力
- 5) 文字サイズ : デフォルト[DEF]を選択
- 6) 行ピッチ : デフォルト[DEF]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “grop”を選択
- 9) 表示フォーマット : フォーマットなし[NULL]を選択
- 10) 下横罫線 : デフォルト[DEF]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : デフォルト[DEF]を選択
- 12) 行間罫線 : 罫線なし[NULL]を選択
- 13) 網掛け : 網掛けなし[NULL]を選択
- 14) 項目制御 : 固定行分割[FIX]を選択

4)【fmt2→name】定義名 name の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 20 を入力
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “name”を選択
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

5)【fmt3→tuki】定義名 tuki の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 3 を入力
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “tuki”を選択
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[set]を選択
- 10) 書式 : z9 と入力
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

6)【fmt4→tanka】定義名 tanka の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 13 を入力
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “tanka”を選択
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[SET]を選択
- 10) 書式 : フォーマット:zzz,zzz,zz9 を入力
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

7)【fmt5→kijun】定義名 kijun の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 11 を入力
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “kijun”を選択
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[SET]を選択
- 10) 書式 : フォーマット:zz,zzz,zz9 を入力
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

8)【fmt6→kurikosi】定義名 kurikosi の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “kurikosi”を選択
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

9)【fmt7→nyuuko】定義名 nyuuko の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 項目高さ H : 数値を選択して 1 を入力
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “nyuuko”を選択
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

10)【fmt8→syukko】定義名 syukko の項目

- 1) 項目左端X : 直前データと同じ [=] を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データに接続 [+] を選択
- 3) 項目幅 W : 直前データと同じ [=] を選択
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ [=] を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ [=] を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ [=] を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “syukko” を選択
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ [=] を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ [=] を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ [=] を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ [=] を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ [=] を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ [=] を選択

11)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。

種別	品名	月	準備	基準数量	繰越数量	在庫数量	出荷数量
group	name	tu	Banka	kijun	kur	ikosi	nyuuko
XXXXXXXXXXXXXX		z9	zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXX		z9	zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXX		z9	zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX

3.4.6 テール部

3.4.6.1 ブロックの削除の方法

- 1)メニューバーの編集→ブロック削除を選択してください。
テール部分(レイアウト下部にある**紫枠**)のブロックをクリックします。



- 2)クリックすると、削除できます。



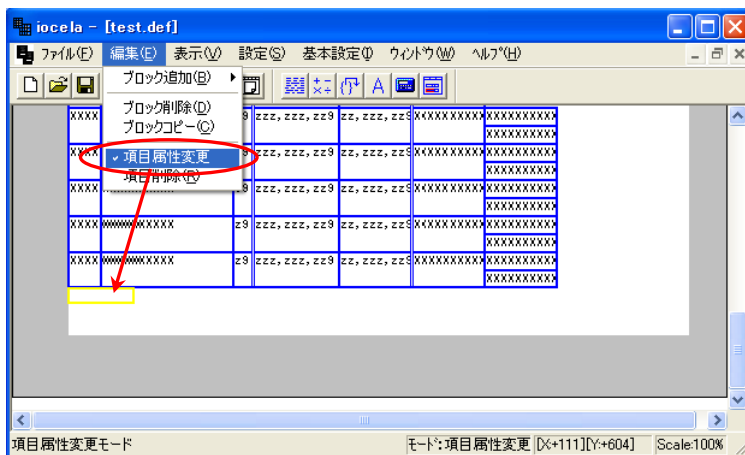
参考

あらかじめ、「3.1 新規作成」で設定する事もできます。

3.4.7 フッター部

3.4.7.1 項目の設定

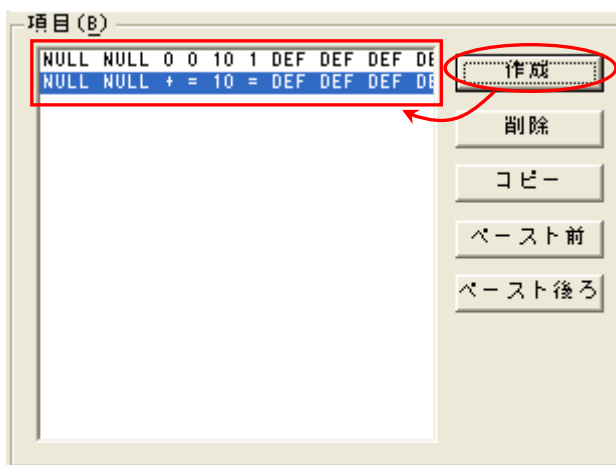
1)メニューバーの編集→項目属性変更を選択し、フッター部をクリックしてください。



2)ブロック設定画面が開きます。

項目の「作成」ボタンを1回クリックすると項目が1つ新しく作成されます。

作成された行を選択し、それぞれに以下の設定を行ってください。



3)【文字列:P.】文字列(P.)の項目

- 1) 項目左端X : 数値を選択して 84 を入力
- 2) 項目上端Y : 数値を選択して 0 を入力
- 3) 項目幅 W : 数値を選択して 5 を入力
- 4) 項目高さ H : 数値を選択して 1 を入力
- 5) 文字サイズ : デフォルト[DEF]を選択
- 6) 行ピッチ : デフォルト[DEF]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “P.”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマットなし[NULL]を選択
- 10) 下横罫線 : 罫線なし[NULL]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 罫線なし[NULL]を選択
- 12) 行間罫線 : 罫線なし[NULL]を選択
- 13) 網掛け : 網掛けなし[NULL]を選択
- 14) 項目制御 : 制御なし[NULL]を選択
- 15) 表示単位 : 毎ページ[PAGE]を選択

4)【定義名:page】ページ数(page)の項目

- 1) 項目左端X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 項目幅 W : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 項目高さ H : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “page”を選択
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[SET]を選択
- 10) 書式 : zzz9 を入力
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択
- 16) 表示単位 : 直前データと同じ[=]を選択

5)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。

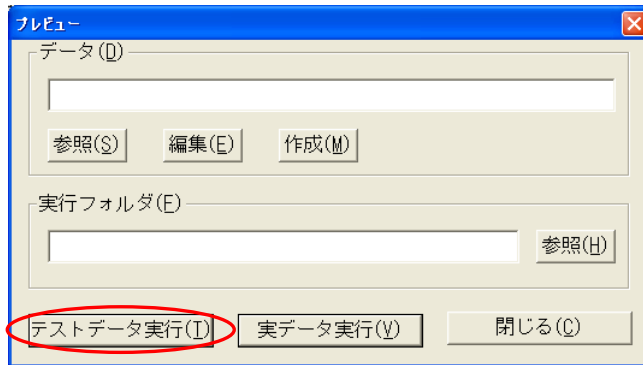


3.4.8 プレビュー[2]

ここまでの設定が終了すれば、プレビューが可能になります。

3.4.8.1 テストデータで出力

- 1)メニューバーのファイル→プレビューを選択してください。
- 2)この画面が表示されます。「テストデータ実行」ボタンをクリックしてください。



3)この画面が表示されます。

画面を閉じるにはメニューバーの終了をクリックしてください。

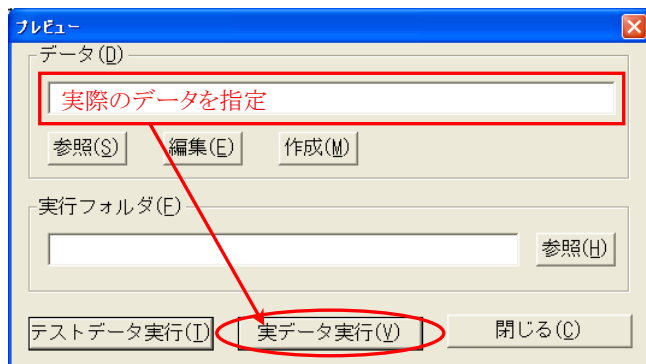


3.4.8.2 実際のデータで出力

実際のデータを埋め込みデータとしてプレビューも可能です。

- 1) メニューバーのファイル→プレビューを選択してください。
- 2) この画面が表示されます。

実際のデータを指定し、「テストデータ実行」ボタンをクリックしてください。



3)この画面が表示されます。

1ページ目が表示されていますので2ページ目を表示する場合は、ツールバーの「次のページを表示します。」ボタンをクリックしてください。



3.5 計算式設定

定義名どうしの計算が行えます。

3.5.1 作成の手順

1)計算式の作成

それぞれの項目に表示させる内容の計算式を作成します。

- 在庫数量:在庫数量 = (繰越数量 + 入庫数量) - 出庫終了
- 充填率:充填率 = 在庫数量 / 基準数量 * 100

2)見出し部の追加作成

サンプル帳票「在庫管理表」に以下の見出し部を追加作成します。

- 在庫数量の項目
- 充填率の項目

3)データ部の追加作成

サンプル帳票「在庫管理表」に以下のデータ部を追加作成します。

- 在庫数量の項目
- 充填率の項目

3.5.1 計算式の作成

1)メニューバーの設定→計算式を選択してください。

(計算式設定の画面については「3.3.3 計算式設定」をご参照ください。)

2)「追加」ボタンを2回クリックしてください。

3)それぞれに以下の設定を行ってください。

4)【定義名:zaiko】 ※□は半角スペースの意味です。

定義名 :zaiko

計算式 : (□kurikosi□+□nyuuko□)□-□syukko

5)【定義名:jusoku】 ※□は半角スペースの意味です。

定義名 :jusoku

計算式 : zaiko□/□kijun□*□100

3.5.2 見出し部の追加作成

1) メニューバーの設定→ブロックでブロック設定画面を表示させ、見出しを選択してください。

2)項目の「作成」ボタンを2回クリックしてください。

3)新しく2つ作成されます。それぞれに以下の設定を行ってください。

4)【文字列:在庫数量】文字列(在庫数量)の項目

- 1) 始点 X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 始点 Y : 数値を選択して 0 を入力
- 3) 幅 : 数値を選択して 10 を入力
- 4) 高さ : 数値を選択して 2 を入力
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “在庫数量”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 固定行分割[FIX]を選択

5)【文字列:充填率】文字列(充填率)の項目

- 1) 項目左端 X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端 Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 幅 : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 高さ : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 文字列を選択
- 8) 文字列 : “充填率”と入力
- 9) 表示フォーマット : 直前データと同じ[=]を選択
- 10) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 11) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

6)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。

種別	品名	月	単価	基準数量	繰越数量	入庫数量	在庫数量	充填率
grop	name	tuk	banka	kijun	kur	ikosi	nyuuko	zyuuko
XXXX	XXXXXXXXXX	zz	zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX
vvvv	vvvvvvvvvvvvvv	..o

3.5.3 データ部の追加作成

- 1) メニューバーの設定→ブロックでブロック設定画面を表示させ、データを選択してください。
- 2) 項目で「syukko」を選択し、「コピー」ボタンをクリックしてください。
- 3) 「ペースト後」ボタンを2回クリックしてください。
- 4) 2つコピーが作成されます。それぞれに以下の設定を行ってください。

5)【定義名: zaiko】在庫数量(zaiko)の項目

- 1) 項目左端 X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端 Y : 数値を選択して0を入力
- 3) 幅 : 数値を選択して10を入力
- 4) 高さ : 数値を選択して2を入力
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “zaiko”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[set]を選択
- 10) 書式 : z,zzz,zz9を入力
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

6)【定義名: jusoku】在庫数量(jusoku)の項目

- 1) 項目左端 X : 直前データに接続[+]を選択
- 2) 項目上端 Y : 直前データと同じ[=]を選択
- 3) 幅 : 直前データと同じ[=]を選択
- 4) 高さ : 直前データと同じ[=]を選択
- 5) 文字サイズ : 直前データと同じ[=]を選択
- 6) 行ピッチ : 直前データと同じ[=]を選択
- 7) 表示内容 : 定義名を選択
- 8) 文字列 : “jusoku”と入力
- 9) 表示フォーマット : フォーマット文字列[SET]を選択
- 10) 書式 : zzzz9.99と入力
- 11) 下横罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 12) 右縦・矩形罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 13) 行間罫線 : 直前データと同じ[=]を選択
- 14) 網掛け : 直前データと同じ[=]を選択
- 15) 項目制御 : 直前データと同じ[=]を選択

7)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。

The screenshot shows a window titled 'iocela - [Docela1]' with a menu bar (File, Edit, View, Settings, Basic Settings, Window, Help) and a toolbar. The main content is a table titled '在庫管理表' (Inventory Management Table) with a date field '平成 年 月 日' (Heisei Year Month Day) at the top right. The table has the following structure:

種別	品名	月	単価	基準数量	繰越数量	入庫数量	在庫数量	充填率
grop name		tu	banka	kijun	kurikosi	nyuuko	zaiko	jusoku
XXXXXXXXXXXXXX		z9	zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	z, zzz, zz9	zzzz9.99
vvvvvvvvvvvvvvvv		-0						

The status bar at the bottom shows 'モード:項目属性変更 [X+436][Y+620] Scale:100%'.

3.5.4 プレビュー[3]

実データ実行をしてイメージの確認をします。

(「3.4.8.2 実際のデータで出力」をご参照ください。)

1)この画面が表示されます。

1ページ目が表示されていますので、2ページ目を表示する場合は、ツールバーの「次のページを表示します。」ボタンをクリックしてください。

平成 20年 04月 24日

在庫管理表

種別	品名	月	準備	基準数量	繰越数量	入庫数量	在庫数量	出荷数量	充填率
1	鉛筆	1	100	500	300	400	400	300	80.00
1	鉛筆	2	100	500	400	200	350	250	70.00
1	鉛筆	3	100	500	350	300	350	300	70.00
1	消しゴム (キャラクターイラスト入り)	1	100	200	50	300	100	250	50.00
1	消しゴム (キャラクターイラスト入り)	2	100	200	100	200	150	150	75.00
1	消しゴム (キャラクターイラスト入り)	3	100	200	150	100	200	50	100.00
1	ボールペン (黒)	1	120	200	100	200	250	50	125.00
1	ボールペン (黒)	2	120	200	250	150	150	150	75.00
1	ボールペン (黒)	3	120	200	150	200	250	100	125.00
1	ボールペン (赤)	1	120	200	100	200	150	150	75.00
1	ボールペン (赤)	2	120	200	150	100	100	150	50.00
1	ボールペン (赤)	3	120	200	100	200	250	50	125.00
1	蛍光ペン (黄)	1	100	150	80	100	150	40	100.00
1	蛍光ペン (黄)	2	100	150	150	50	100	100	66.67
1	蛍光ペン (黄)	3	100	150	100	150	175	75	116.67
1	蛍光ペン (青)	1	100	100	100	100	160	40	160.00
1	蛍光ペン (青)	2	100	100	160	50	110	100	110.00
1	蛍光ペン (青)	3	100	100	110	40	75	75	75.00
2	F D	1	350	40	10	40	45	5	112.50
2	F D	2	350	40	45	10	40	15	100.00

P. 1

a4(595x842)縦 1/2Page 100%

3.6 小計・合計や改頁の設定

演算(小計、合計)定義や改頁定義を行うタイミングの設定と制御を設定します。

3.6.1 作成手順

- 1) ブレーク設定
 - ・ブレークタイミングの定義を作成
 - ・ブレーク詳細の定義を作成
- 2) 演算設定
 - ・計算定義を作成
 - ・計算のタイミングを設定
- 3) ブレーク・演算定義の表示設定
 - ・1)、2)で設定した内容をレイアウトに表示設定

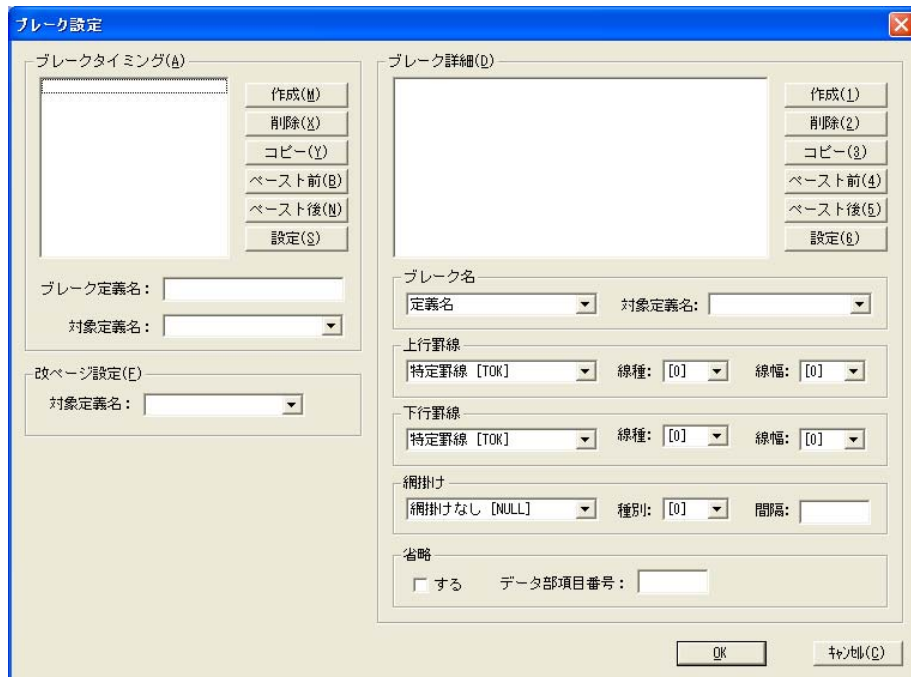
3.6.2 ブレーク設定

3.6.2.1 作成するブレーク内容

- 1) ブレーク定義名: tmg1 (grop(種別)ごとに改頁をする。)
 - ・「小計」の文字を入れる。
- 2) ブレーク定義名: tmg2 (name(品名)ごとに任意のデータ部項目を省略する。)
 - ・[削除項目]grop(種別)、name(品名)、tanka(単価)、kijun(基準数量)
 - ・「計」の文字を入れる。
- 3) 最終合計を出力する。(ブレーク詳細項目を作成してください。)
 - ・「合計」の文字を入れる。

3.6.2.2 設定方法

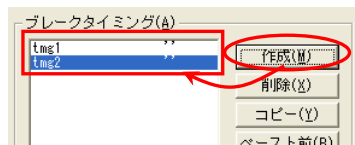
- 1)メニューバーの設定→ブレイクを選択してください。
- 2)この画面が表示されます。



- 3)ブレイクタイミングの定義の設定をします。

ブレイク設定画面左側のブレイクタイミングの「作成」ボタンを2回クリックしてください。

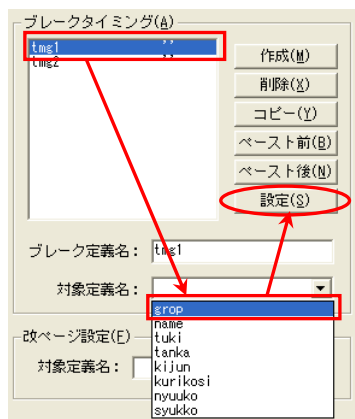
- 4)ブレイクタイミングのリストに tmg1 と tmg2 の定義名の項目ができます。



- 5)リストボックスの tmg1 をクリックしてください。

対象定義名のリストボックスから「grop」を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。

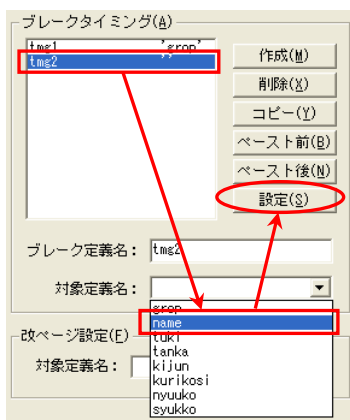
「grop」(種別)ごとに小計や計ページ設定をするための設定です。



6)リストボックスの tmg2 をクリックしてください。

対象定義名のリストボックスから「name」を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。

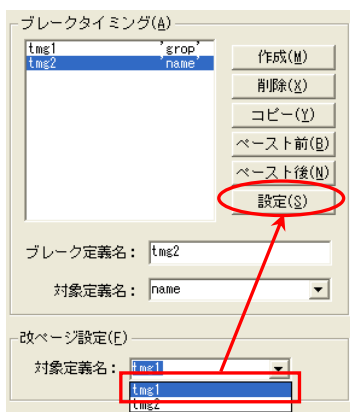
「name」(品名)が同じ場合は「品名」「種別」「単価」「基準数量」を省略するための設定です。



7)改ページ設定の対象定義名のリストボックスから「tmg1」を選択し、設定をクリックしてください。

「tmg1」の対象定義名の「grop」が変わった場合、改ページを行う設定です。

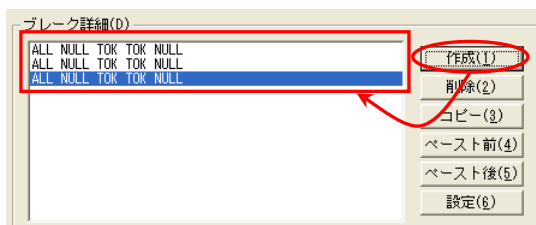
ブレークタイミングの定義の設定は終了しました。



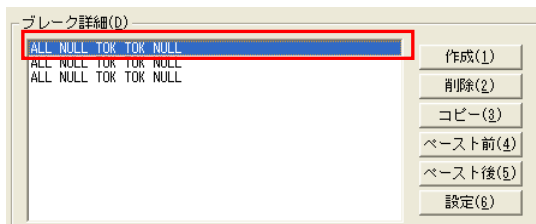
8)ブレーク詳細の定義を設定します。

ブレーク設定画面右側のブレーク詳細の「作成」ボタンを3回クリックしてください。

9)ブレーク詳細のリストに3つの項目が作成されます。



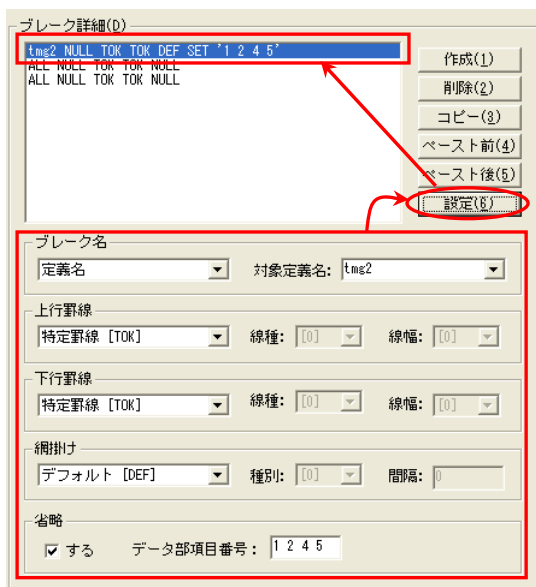
- 10)ブレイク詳細のリストの1番目をクリックしてください。
この項目には「name」に対する項目を設定します。



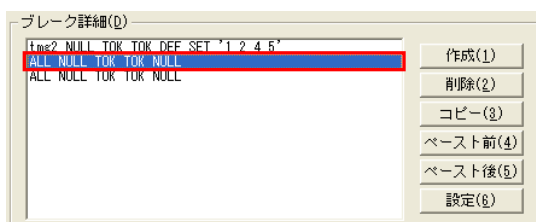
- 11)以下の設定を行ってください。 ※□は半角スペースの意味です。

ブレイク名 : 定義名
 対象定義名 : tmg2
 上行罫線 : 特定罫線[TOK]
 下行罫線 : 特定罫線[TOK]
 網掛け : デフォルト[DEF]
 省略 : するにチェックを入れる
 データ部項目番号 : 1□2□4□5
 (データ部項目の最初が1番目になります。)

- 12)ブレイク詳細の「設定」ボタンをクリックするとブレイク詳細リストの1番目に反映されます。



- 13)ブレイク詳細のリストの2番目をクリックしてください。
この項目は「grop」に対する項目を設定します。

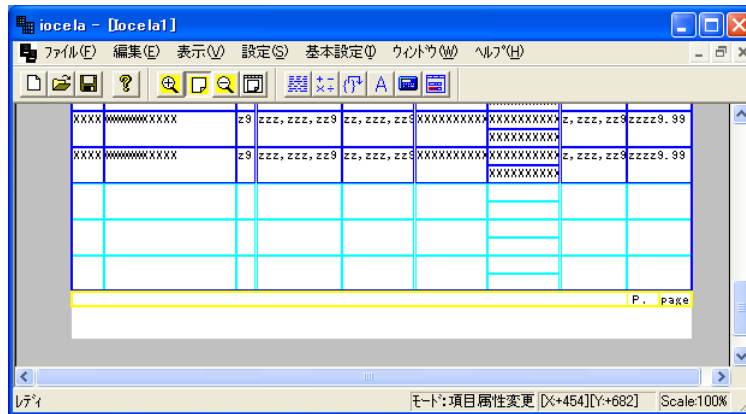


14)以下の設定を行ってください。

ブレイク名 : 定義名
対象定義名 : tmg1
上行罫線 : 特定罫線[TOK]
下行罫線 : 特定罫線[TOK]
網掛け : 網掛けなし[NULL]

15)ブレイク詳細の「設定」ボタンをクリックするとブレイク詳細リストの2番目に反映されます。

16)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。



The screenshot shows a window titled "iocela - [Docela1]" with a menu bar (File, Edit, View, Settings, Basic Settings, Window, Help) and a toolbar. The main area displays a table with two rows of data. The first row contains the text "XXXX ~~~~~" followed by "z9 zzz, zzz, zz9 zz, zzz, zz9 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX z, zzz, zz9 zzzz9.99". The second row contains "XXXX ~~~~~" followed by "z8 zzz, zzz, zz9 zz, zzz, zz9 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX z, zzz, zz9 zzzz9.99". A yellow highlight is visible under the second row. The status bar at the bottom indicates "モード:項目属性変更 [X+454][Y+682] Scale:100%".

XXXX ~~~~~	z9 zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	z, zzz, zz9	zzzz9.99
XXXX ~~~~~	z8 zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	z, zzz, zz9	zzzz9.99

3.6.3 演算設定

定義名ごとの合計や平均など出力できます。

また、出力のタイミングも設定できます。

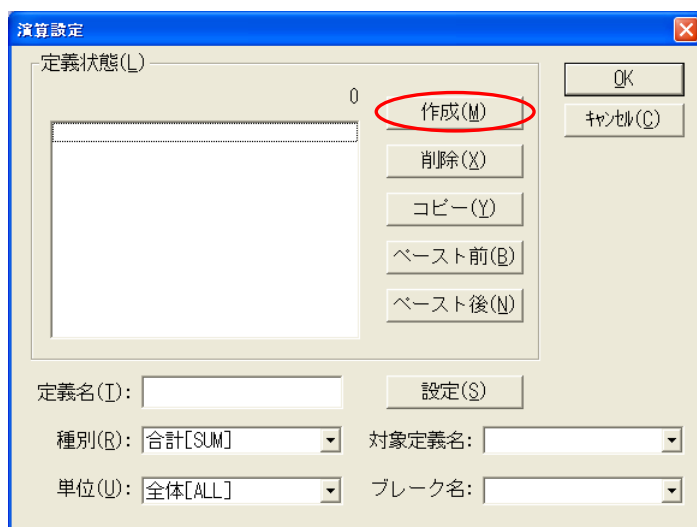
3.6.3.1 作成する演算内容

- 定義名:enz1 入庫数量に対する合計をブレイク tmg2 のタイミングで出力。
- 定義名:enz2 出庫数量に対する合計をブレイク tmg2 のタイミングで出力。
- 定義名:enz3 充填率に対する平均をブレイク tmg2 のタイミングで出力。
- 定義名:enz4 入庫数量に対する合計をブレイク tmg1 のタイミングで出力。
- 定義名:enz5 出庫数量に対する合計をブレイク tmg1 のタイミングで出力。
- 定義名:enz6 充填率に対する平均をブレイク tmg1 のタイミングで出力。
- 定義名:enz7 入庫数量に対する合計を全体で出力。
- 定義名:enz8 出庫数量に対する合計を全体で出力。
- 定義名:enz9 充填率に対する平均を全体で出力。

3.6.3.2 設定方法

1)メニューバーの設定→演算を選択してください。

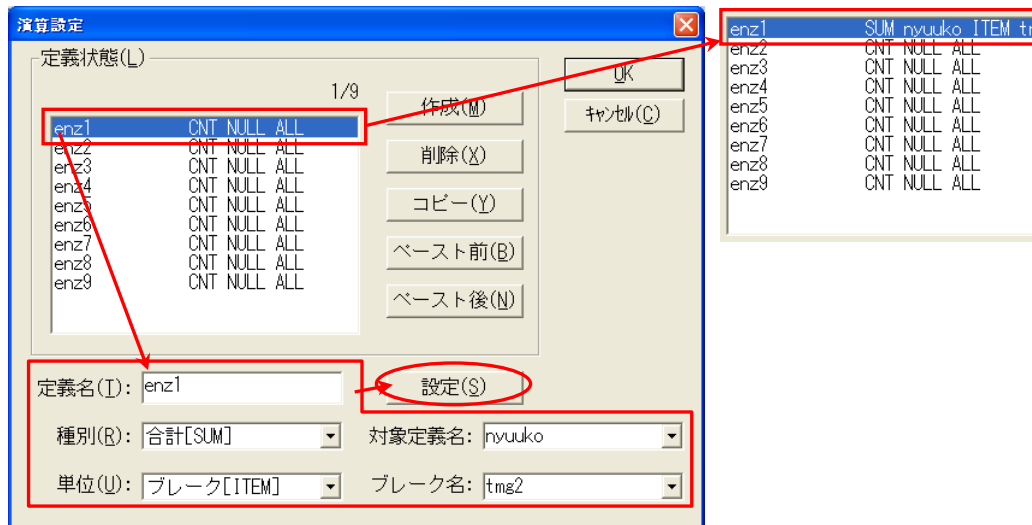
2)この画面が表示します。「作成」ボタンを9回クリックしてください。



3)定義名:enz1～enz9 が作成されます。

4)それぞれに以下の設定を行ってください。

※単位:をブレイクにするため、事前に必ずブレイク設定を行ってください。



5)【定義名:enz1】

種別 : 合計 [SUM]
 対象定義名 : nyuuko
 単位 : ブレイク [ITEM]
 ブレイク名 : tmg2

6)【定義名:enz2】

種別 : 合計 [SUM]
 対象定義名 : syukko
 単位 : ブレイク [ITEM]
 ブレイク名 : tmg2

7)【定義名:enz3】

種別 : 平均 [AVG]
 対象定義名 : jusoku (フォーマット定義していないので手入力)
 単位 : ブレイク [ITEM]
 ブレイク名 : tmg2

8)【定義名:enz4】

種別 : 合計 [SUM]
 対象定義名 : nyuuko
 単位 : ブレイク [ITEM]
 ブレイク名 : tmg1

9)【定義名:enz5】

種別 : 合計 [SUM]
 対象定義名 : syukko
 単位 : ブレイク [ITEM]
 ブレイク名 : tmg1

10)【定義名:enz6】

種別 : 平均[AVG]
対象定義名 : jusoku(フォーマット定義していないので入力)
単位 : ブレーク[ITEM]
ブレーク名 : tmg1

11)【定義名:enz7】

種別 : 合計[SUM]
対象定義名 : nyuuko
単位 : 全体[ALL]

12)【定義名:enz8】

種別 : 合計[SUM]
対象定義名 : syukko
単位 : 全体[ALL]

13)【定義名:enz9】

種別 : 平均[AVG]
対象定義名 : jusoku(フォーマット定義していないので入力)
単位 : 全体[ALL]

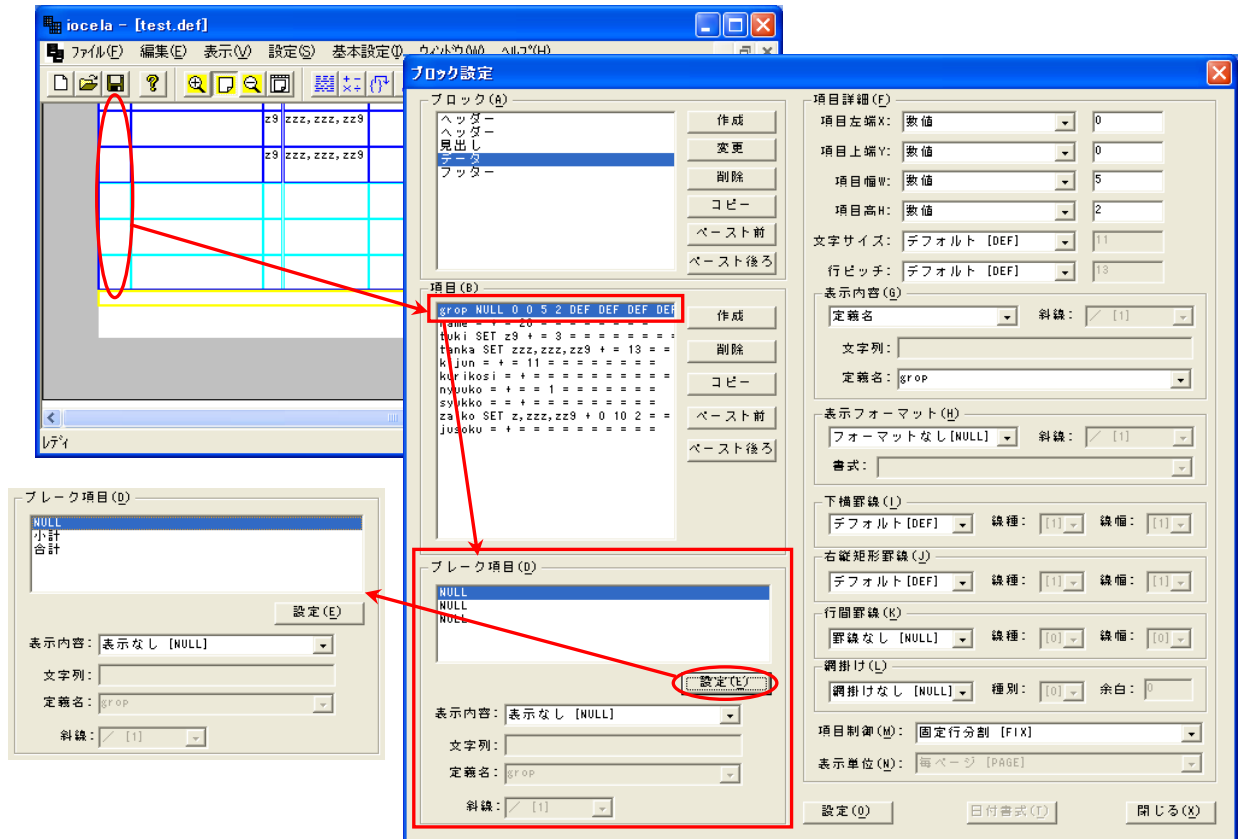
3.6.4 定義の表示設定

前項で作成したブレイク定義や演算定義をブロック設定画面のブレイク項目で表示内容を設定します。

3.6.4.1 設定方法

1)メニューバーの編集→項目属性変更を選択し、grop部分のデータ項目をクリックしてください。

項目の「grop」が選択された状態でブロック設定画面が開きます。



2)ブレイク項目にそれぞれ以下の設定を行ってください。

※ブレイク項目は1つの行を設定ごとに「設定」ボタンをクリックし、設定を反映させてください。

3)【データ項目:grop】

- ブレイク項目のリストの1番目のデータ
表示内容 : 表示なし [NULL]
- ブレイク項目のリストの2番目のデータ
表示内容 : 文字列
文字列 : 小計
- ブレイク項目のリストの3番目のデータ
表示内容 : 文字列
文字列 : 合計

4)【データ項目:name】

- ブレイク項目のリストの1番目のデータ
表示内容 : 文字列
文字列 : 計
- ブレイク項目のリストの2番目と3番目のデータ
表示内容 : 表示なし [NULL]

5)【データ項目:tuki】

- ブレイク項目のリストの1番目と2番目のデータ
表示内容 : 斜線[SLN]
- ブレイク項目のリストの3番目のデータ
表示内容 : 斜線[SLN]
斜線 : ×[3]

6)【データ項目:tanka】

- tukiと同様。

7)【データ項目:kijun】

- tukiと同様。

8)【データ項目:kurikosi】

- ブレイク項目のリストの1番目と2番目と3番目のデータ
表示内容 : 斜線[SLN]
斜線 : / [1]

9)【データ項目:nyuuko】

- ブレイク項目のリストの1番目のデータ
表示内容 : 定義名
定義名 : enz1
- ブレイク項目のリストの2番目のデータ
表示内容 : 定義名
定義名 : enz4
- ブレイク項目のリストの3番目のデータ
表示内容 : 定義名
定義名 : enz7

10)【データ項目:syukko】

- ブレイク項目のリストの1番目のデータ
表示内容 : 定義名
定義名 : enz2
- ブレイク項目のリストの2番目のデータ
表示内容 : 定義名
定義名 : enz5
- ブレイク項目のリストの3番目のデータ
表示内容 : 定義名
定義名 : enz8

11)【データ項目: zaiko】

kurikosiと同様

12)【データ項目: jusoku】

- ブレイク項目のリストの1番目のデータ

表示内容 : 定義名

定義名 : enz3

- ブレイク項目のリストの2番目のデータ

表示内容 : 定義名

定義名 : enz6

- ブレイク項目のリストの3番目のデータ

表示内容 : 定義名

定義名 : enz9

13)ここまでの設定で次のレイアウトが作成されます。

XXXX XXXXXXXXXX	z9	zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	z, zzz, zz9	zzzz9.99
XXXX XXXXXXXXXX	z9	zzz, zzz, zz9	zz, zzz, zz9	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	z, zzz, zz9	zzzz9.99
計					enz1		enz3
小計					enz4		enz6
合計					enz7		enz9

3.6.5 プレビュー[4]

実データ実行をしてイメージの確認をします。

(「3.4.8.2 実際のデータで出力」をご参照ください。)

1)この画面が表示されます。

1ページ目が表示されていますので、2ページ目を表示する場合は、ツールバーの「次のページを表示します。」ボタンをクリックしてください。

平成 20 年 04 月 24 日

在庫管理表

種別	品名	月	単価	基準数量	発注数量	在庫数量		充填率	
						入庫数量	出庫数量		
1	鉛筆	1	100	500	300	400	400	80.00	
						300	350	70.00	
		2			400	200	250	350	70.00
					350	300	300		
計					900	850	72.22		
1	消しゴム (キャラクターイラスト入り)	1	100	200	50	300	100	50.00	
						250	150	75.00	
		2			100	200	150	200	100.00
					150	100	50		
計					600	450	75.00		
1	ボールペン (黒)	1	120	200	100	200	250	125.00	
						50	150	75.00	
		2			250	150	150	250	125.00
					150	200	100		
計					450	320	104.22		
1	ボールペン (赤)	1	120	200	100	200	150	75.00	
						150	100	50.00	
		2			150	100	100	250	125.00
					100	200	50		
計					500	350	89.59		
1	蛍光ペン (黄)	1	100	150	90	100	150	100.00	
						40	100	66.67	
		2			150	50	100	175	116.67
					100	75			
計					300	215	94.44		

P. 1

④4 (595x842)縦 1/3Page 100%

2)2ページ目が表示されました。

3ページ目を表示する場合は、ツールバーの「次のページを表示します。」ボタンをクリックしてください。

The screenshot shows a web browser window titled 'C:\temp\iod28.tmp - iodview'. The main content is a table titled '在庫管理表' (Inventory Management Table) dated '平成 20年 04月 24日'. The table has columns for '種別' (Category), '品名' (Item Name), '月' (Month), '準備数量' (Preparation Qty), '繰越数量' (Carryover Qty), '入庫数量' (In-stock Qty), '在庫数量' (Inventory Qty), and '充填率' (Fill Rate). The first row is for '蛍光ペン (青)' (Fluorescent Pen (Blue)) with a preparation quantity of 100. The table shows monthly inventory changes and a total at the bottom. The toolbar at the top contains various navigation icons, with the 'Next Page' icon (a right-pointing arrow) circled in red. The status bar at the bottom indicates 'a4(595x842)縦', '2/3Page', and '100%'.

種別	品名	月	準備数量	繰越数量	入庫数量	在庫数量	充填率
1	蛍光ペン (青)	1	100	100	100	160	160.00
		2			40	110	110.00
		3			160	100	
					110	40	75
					75		
					130	115.00	
					215		
	小計				2,940		91.57
					2,380		

3)3ページ目が表示されました。

画面を閉じるにはメニューバーの終了をクリックしてください。

平成 20 年 04 月 24 日

在庫管理表

種別	品名	月	単価	基準数量	繰越数量	在庫数量		在庫数	充填率
						入庫数量	出庫数量		
2	FD	1	350	40	10	40		45	112.50
		2				45	10	40	100.00
		3				40	10	45	112.50
	計					50	20		112.50
	FAX用紙	1	500	5	10	0		3	180.00
		2				1	0	7	140.00
		3				9	0	2	
	計					6	3		150.00
	小計					60	28		129.00
	合計					3,000	2,408		99.71

P. 3

a4(595x342)縦 3/3Page 100%

4 IOCELAの挙動制御

IOCELA の挙動制御が行えます。

IOWebDOC インストール先配下の/etc/cela.txt に以下の内容を記述する事で制御できます。

※ 上記ファイルはインストーラには入っておりません。
新規に作成してください。

Cela.txt 記述例)

mode=var

noheadspace=0

nofootspace=0

1) mode

罫線の出力とフッターの出力位置を指定できます。

※ 記述が無い場合は、罫線固定(old)の動作となります。

mode=old 罫線固定

mode=fix 新動作 データ終了時フッター位置固定

mode=var 新動作 データ終了時フッター位置可変

mode=old 設定時

在庫管理表

※ 21年06月22日

種別	品名	単	数量	単価	数量	入庫	在庫	仕入
1	備忘メモ(青)	1	100	100	100	100	100	100.00
		2				40		
					100	50	110	110.00
		3			100			
					40	75	75.00	
						75		
						100	110.00	
						210		
						210		
						2,840	91.90	
						2,795		

P. 2

mode=fix 設定時

平成 21年05月22日

在庫管理表

種類/品名	月	単価	発注数量	検閲数量	在庫数量		完成率
					入庫数量	在庫数量	
1 器具ペン (青)	1	100	100	100	100	100	100.00
	2				40	40	
	3				50	110	110.00
				110	40	100	
				110	40	75	75.00
				75			
計				110	110		110.00
小計				210	210		91.87
				2,340	2,340		

P. 2

mode=var 設定時

平成 21年05月22日

在庫管理表

種類/品名	月	単価	発注数量	検閲数量	在庫数量		完成率
					入庫数量	在庫数量	
1 器具ペン (青)	1	100	100	100	100	100	100.00
	2				40	40	
	3				50	110	110.00
				100	40	100	
				110	40	75	75.00
				75			
計				110	110		110.00
小計				210	210		91.87
				2,340	2,340		

P. 2

2) noheadspace

ヘッダーとデータ(または見出し)間の隙間の有無を制御します。真なら隙間を空けない。

※ 記述が無い場合は、隙間を空ける設定となります。

noheadspace=1 1|y|t なら真

noheadspace=0 0|n|f なら偽

3) nofootspace

データ(またはテール)とフッター間の隙間の有無を制御します。真なら隙間を空けない。

※ 記述が無い場合は、隙間を空ける設定となります。

nofootspace=1 1|y|t なら真

nofootspace=0 0|n|f なら偽

製品の仕様は性能向上のため予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

IOWebDOC IOCELA Simple Manual

初版 : April 30, 2008

第2版 : June 22, 2009

Copyright(C) YSS CO.,LTD.

TEL: 044-211-9332

URL: <http://www.iothe.co.jp/>